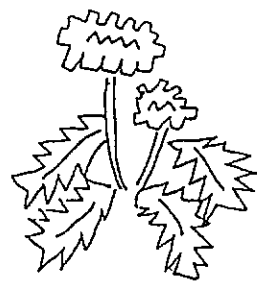




NO 1 5 0
 H11年12月1日
 一発行一
 〒869-1217
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



田中施設長へー施設長が遺し

てくれたものー

園長 松田 健

田中施設長が亡くなられて一年が経ちます。「月日の経つのは早い」と言いますが、これほどまで一年が経過するのを早く感じたことはありません。いろいろなことがありました。一つ一つを報告しなければいけないのですが、その量の多さに驚いてしまわれることでしょう。また、あまりいい報告ができないので怒られるかもしれません。田中施設長が危惧されていたことが現実起こっています。もう少し真剣に考えておけば良かったと思うことばかりです。施設長は常に先を見越しておられていたと改めて思います。

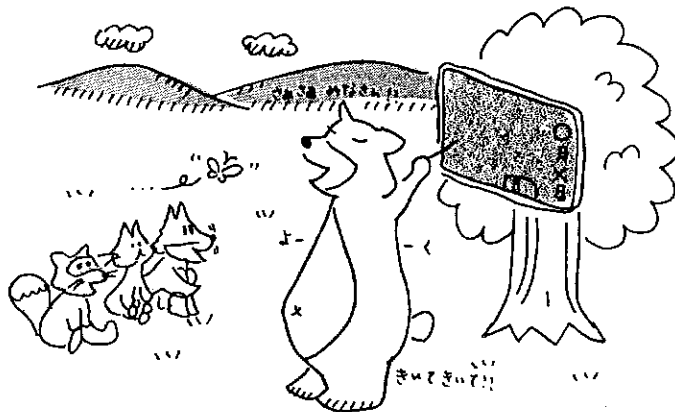
いい話も少しさせていただきま
 す。田中施設長という中心的指導
 者が亡くなられ、全体的な低迷は
 必至でした。何とか再建したいと
 思い、今年度から月に二度の勉強
 会を行っています。木下療育課長
 を中心として主に動作法の勉強を
 しています。講演会も行いました。
 一回目は、野々島学園の園長であ
 る土井尚典先生にお願いしました。
 一周忌を終え、再出発を誓う意味
 で二回目の講演会を実施すること
 となりましたが、近藤原理先生に
 是非とも来ていただきたい、いや、
 近藤原理先生でなければいけない
 と考えていました。田中施設長が
 近藤先生のことを常に褒めておら
 れたこと、三気の里の「スローガン
 である「のん気、こん気、げん気」
 は原理先生の父親である近藤益雄
 先生のお言葉であるということ
 ことなど挙げていくと際限がない
 のですが、近藤原理先生に趣旨を
 お話ししたところ、ご多忙にもか
 かわらず快く承諾していただきま
 した。「大変さを楽しむ」という
 演題で二時間にわたりご講演いた

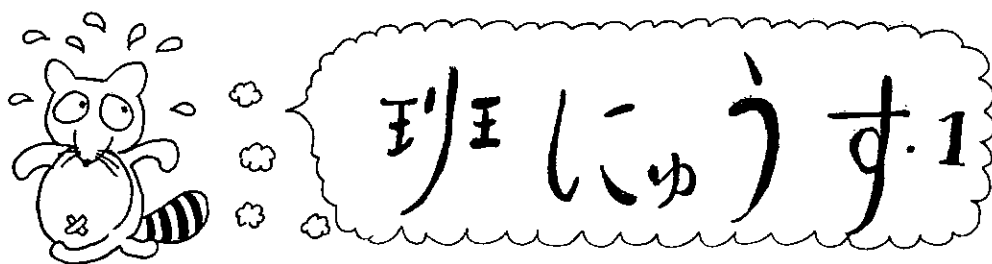
だきました。参加者全員 感銘し
 ておりました。明日からの新たな
 糧を得たことと思います。

十一月十八日、十九日に全国自
 閉症者施設協議会の全国大会に参
 加するため横浜へ行きました。あ
 さけ学園の理事長石丸先生、施設
 長の奥野先生とお話しをさせてい
 ただく機会を得ましたが、両名か
 ら(田中施設長の)遺志を引き継
 ぎ、頑張るようにとの励ましの言
 葉をかけていただきました。また、
 分科会では田中施設長の言葉を引
 用される方がおられました。田中
 施設長の思想が自閉症療育の世界
 に息づいていることを実感しまし
 た。

三気の里において、田中施設長
 のご遺志を引き継ぐ土台が徐々に
 形成されつつあると自負していま
 す。勿論、これからの取り組み次
 第であり、簡単にはいかないと思
 います。

改めて、不正の排除、職員のリ
 ベルの向上、保護者との連携、地
 域交流の深化、社会啓蒙の具現化
 をはかっていくことを誓います。
 自閉症者を中心とした療育施設と
 して田中施設長の名を汚さないよ
 うに全職員一致協力していきます。
 田中施設長が遺されたものを大事
 にしていき、いつの日か三気の里
 いっぱいに花開かせたいと思っ
 ています。いつまでも見守ってい
 てください。





3班・あぁ、おいしかった…

朝晩の冷え込みもいよいよ厳しくなり、こたつの温もりが恋しい季節となりました。皆様如何お過ごしでしょうか。

さて、私たち木工班はこんな季節にもかかわらず、11月4日に西原村にある風の里キャンプ場にて、バーベキューを楽しみました。前日に、野菜の切り込みを誠くんと剛くんに手伝ってもらったのですが、その包丁さばきにびっくり。玉ねぎや、キャベツ等を上手に切ってくれました。バーベキューでは、次から次に食べておなかいっぱいニコニコ顔の武文くん、憲一くん、大介くん、暁くん。カボチャばかり食べていた一章くん。手羽先が好きな稔くん、お肉よりも焼きそばの方が好きだった希久男くん。自動販売機がとても気になる哲也くん。満足したら昼寝をしていた修一くん。始めは材料を買い過ぎたかなと思ったのですが、残す事なく食べてしまいみんな満足満足で楽しいレクリエーションでした。と、言いたいのですが、誰だ！私のおにぎりを食べたのは！焼こうと思って取って置いたのに、あぁ…あのおにぎりが食べたい…

岩本

6班・のん気にショッピング

日中の日差しが「暑い」から「暖かい」に変わったこの季節、6班（のんき班）は、小川町にあるダイヤモンドシティへ出掛けました。今回のテーマは「買い物」ということで、出発前から皆ニコニコ・ソワソワ。各自三千円のおこづかいと期待を持っていざ出発！12時に到着し、まずは腹ごしらえから。とんかつ釜めしグループとファミリーレストラングループの2つに分かれ、全員が残すことなくお腹を満たし、笑顔も満たしていたようでした。

さて今回のテーマでもある「買い物」は、と言いますと、自分の欲しい物をしっかりと手に持っている人、お菓子コーナーに直行する人と様々で、個性的な買い物を楽しむ事が出来ました。11月18日レクリエーション日和、皆の満足気な笑顔を見れて私にとっても大満足のレクリエーションとなりました。

井手

8班・私を仲間に入れて！

今年も残すところ後僅かとなってしまい、いよいよ忘年会の季節ですね。皆さん、1年間どうでしたか？ところで…御存じの通り、私は11月から8班に所属することになりました吉田美紀です。今、初めての紙漉き作業を一生懸命頑張っています。なぜかと言いますと、皆が熱心に作業しているのを見て、驚いてしまいました。だって、すごく上手で早いですよ！私も早く上手にならなければ、と思いつながら葉書作りをしているのですが、なかなか上手にできなくて焦っています。でも頑張りますので、これから先よろしく願います。

さて、8班は11月4・5日に宿泊レクリエーションがあり、大分県に行ってきました。もう、前日は旅行の会話で大盛り上がり。私は一人寂しくお留守番でしたが、土産話を沢山聞き、皆ありがどうね。満足させてもらいました。来月からは私も一緒に連れて行ってね！

吉田



はんにゆう〜す 2

4班・カレーの味は…（？）

寒さも冬本番となってきましたが、皆様におかれましては、いかがお過ごしですか。

私たち農耕班のみんなは、寒さも吹き飛ばす程に元気いっぱい作業を毎日頑張っています。そんな中、日ごろの疲れを癒しに先月（10月）のレクリエーションは、火の鳥温泉に出掛けました。コテージを借り、前日に作っておいたカレーを持って行きました。コテージもとても広く、みんなのご飯の時間までのんびりと一休み。さっそく横になってくつろいでいた浩一くん。藍ちゃん、久美さん、緑恵さん。周りの紅葉を楽しんでいたるり子さん、新一くん、隆博くん。カレーの香りにニコニコだった高志くん、聡くん、創くん、潔くん。みんなでおなか一杯食べた後は、温泉に入って疲れをとり、のんびりとした一日を過ごしました。そして、また寒さに負けず、作業を頑張っています。そんなみんなが愛情一杯に育てた、野菜がどんどん大きくなっています。今は、ハウレン草が食べごろです。1度食べてみてください。

宮原

5班・海だ！イルカだ！伊勢エビだ〜！

“食欲の秋”とは良く言ったもので、我が園芸班が先日実行した宿泊レクリエーションでそれは見事に証明されました。

11月10、11、12日の2泊3日での旅行先は、刺し身、温泉大好き園芸班にふさわしい熊本天草。昼間は五和町のイルカウォッチング、牛深の海中公園で存分に神秘的な海を楽しみました。メインの旅館での料理は、1泊目はタイのお造り、おこぜの唐揚げ、旅館からのサービス品のタコの姿煮。2泊目は豪華伊勢エビのお造り、グラタン、味噌汁を中心に大食いメンバーがギブアップする程の量の多さとあまりのおいしさとお腹も心も感激、感激で皆大満腹でした。これだけでも旅行の目的は十分に果たしていたのですが、今回の旅行で何よりも心に残っているのが、旅先の行く先々での地元の方々の温かい援助と配慮に触れることが出来たことです。お陰で、素晴らしい旅行となりました。

さぁー、園芸班のみなさん。3日間で一人平均3kg増えた体重を、これから落とさなければなりません。とりあえず、また毎日の作業をがんばろーかね！

佐藤

1班・晩秋に想う

初冬の声を聴きつつも、私の目玉の様にクルクルと変化する気候に訳が分からないこの頃です。

どちらかというとも寒さの苦手な私は(あったかい方がいいナ〜。)等と一人ブツブツ言っております。愛しい秋への別れ…そんな晩秋の晴れた日、皆で紅葉を見に行きました。一路、阿蘇は蘇陽町・蘇陽峽へ。山々を抜け、辿り着いたそこは谷間が一望できる絶景の場所。その悠然とした姿に見ほれていたのは言うまでもありません。ぼやっとする職員を尻目に、もちろん皆は中華弁当まっしぐら！

“空気がうまけりゃ飯もうまい！”…もっともです。秋にしてはちょっと汗ばむ日差しを背に受け、モリモリと、まるで食欲の秋と別れを惜しむかの如く勢いのある食べっぷりに、絶対に今年の一班会風邪ひかな！と思わず確信してしまいました(笑)。さて、毎回のレクで思うのですが、自然の中で遊ぶ事のもとも上手なみんなは、とてもゆったりとした、素敵な時の過ごし方を知っています。日頃喧噪の中で過ごしている私たちが、いつの間にかどこかで忘れてしまった大切な時間…。「これがリフレッシュっていうんだよ」「これがゆとりだよ」…そう教えてくれる皆とのレクは、いつも私のフィルムをいっぱいにします。皆の想い、少しは写せてるかなぁ…。寒さで頭が固くなる前に、ちょっと色々考えよう、困ったら皆に聞こう！…1班はいつもあったかだから…♥

大石



2班・おやつの一瞬

11月だというのにポカポカ陽気、この異常気象はなんでしょう。もしかして近未来セミの声を聞きながら、クリスマスの曲を聞く日も来るのではないのでしょうか。今回の班ニュース、いつものようにレクリエーションの様子をと思ったのですが、たまには違うことでもと思い、2班のおやつ風景をお話ししたいと思います。午後の作業も終わりに近づき、3時頃より幸恵ちゃんがおやつ準備に取りかかります。机の上を台拭きできれいに拭きあげ準備OK。「おやつにしまーす、片付けて下さーい」の声を合図に人を押しのけてまで皆ドタバタ片付け、おやつを食べる場所へ移動。当番の人がおやつを取りに行っている間に、皆手を洗い決まっではないのにいつもの場所へ座ります。当番の人が配り終わったら「いただきまーす」牛乳を一気に飲み干す人、袋が開けきれなくて何度も開けてと言う人（自分で開けないと食べれないよーと言うと、頑張っってどうにかして開けています。）ゆっくりマイペースで食べる人様々です。なかには、ほとんどボロボロと下に落ちてしまう人もいます。時間にして5～10分で皆食べてしまいます。たまーにある差し入れのおかしがあると、どれから食べようかと悩んでしまう人もいます。食べ終わるとビニールと紙に分けて捨てる練習をしています。だんだん上手に分けれる様になりました。とにかく食べ終わるまで、「自分で開けてー」「こぼれるよー」「はよ食べんと他の人に食べられるよー」と、いろいろな言葉掛けが飛び交う、楽しくワイワイとうるさいおやつ時間です。あー明日のおやつは何だろうなあー。

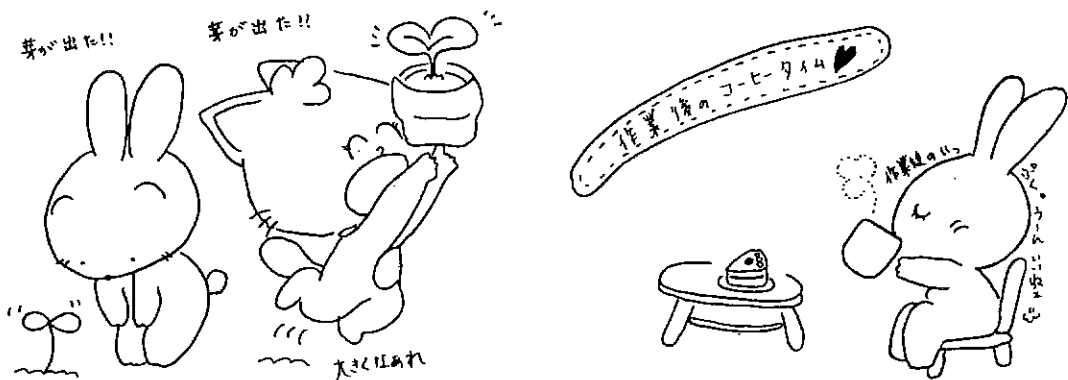
八木

7班・実りの秋

私が三気の里で働き始めて初めての冬。そして、7班としても初めての冬がやって来ました。作業服も購入し、これで寒い日の外作業も心配なし。

畑は、皆が作業をしやすいように、一人ひとり、支柱を立てビニールテープで区切りました。区切った畑は一つひとつ広い訳ではありませんが、7班の園生が頑張っって大根や高菜の種を蒔いて、水撒きをしたかいあって、力強く芽を出して育っています。草取りは、範囲が明確になり、視覚的にも終わりが分かりやすい作業となりました。それぞれの畑には、写真と名前付きのプレートが立ててあります。皆自分の畑に、少しでも愛着を持ってもらえれば嬉しいです。作業が一段落した園生は、自分の畑に座って一休みです。大根や高菜の収穫も待ち遠しいのですが、それよりも大切なものを園生の皆は作業を通して、収穫していくことと思います。それと共に私もいろんな事を収穫している今日この頃です。

竹下



「思い」

山口 裕之

ある日、利用者を連れて外出しました。車の多い道路沿いを歩いていると突然一人の利用者が飛び出そうとしました。そこで、その利用者呼び止めようと職員がその利用者の名前を呼ぶと、その利用者はこちらを見てその場に立ち止まりました。

これは現実にあった話ではなく、わたしが実習生だった頃あるベテランの職員に反省会の際、話していたことでも今でもつねに心にとめ勤務しています。

この話の意味は一人の利用者が道に飛び出そうとし、それを止めようと職員が名前を呼ぶことで利用者がどういふ反応を示すかです。ここで私たち（職員）は、日常生活で利用者に関わる中で、呼び止めることでその場に立ち止まるような指導、もしくは利用者との関係を築かないといけないのであって、決して一度振り向いた後、走り去るような指導はしては行けないと話していただきました。

現在、三気の里にもたくさんの実習生が来園されています。短い実習期間で多くの物を学ぼうと一生懸命実習に取り組まれています。

それぞれに思い思いの目標を持って利用者と関わっています。私たちは実習生に対し、利用者に対する接し方についてはこの人にはこういう接し方をして下さいとは言わず、お互いに怪我や命に危険がない限りは基本的に自由に利用者として見えて下さいと初めに話します。そうすることで出てくる問題や疑問に対し試行錯誤しながら実習生が自ら考え、実践することでも耳で聞いて学ぶのではなく利用者に関わる中で身体で学ぶことが出来ます。また、そういう実習生と利用者との関わりの中で、今まで私たちに見せたことの無いような表情や行動を見せてくれることもあります。

学ぶことは実習生ばかりではありません。そのような関わりの中で利用者に対する一つ一つの言葉掛けや謙虚な態度に私たちが気づかされることもあります。

毎日の生活の中で指導するもの

指導されるものの立場から指導することの意味を忘れてしまい、利用者よりも上の立場に立ってしま

うことで、利用者がいるいろいろな言葉や行動で発する思いに気が付かず、一つ一つの言葉掛けが思いの込められない雑な物になってしまったり、逆にこちらの思いを押し付けたりしてしまうことがあります。私たちはこの利用者の思いをどう受けとめこちらの思いをどう伝えるか、そこが大切になってきます。またそのやり取りの中で信頼関係も築けるのではないのでしょうか。しかし、その利用者に対する思いや謙虚さを忘れてしまうと信頼関係も築けません。そのことに気づかされたときとても胸が痛くなります。

この利用者の思いとこちらの思いとのやり取りを大切にしつつ、最初の話に出てきたように名前を呼んだらその場に立ち止まるような関わりが出来るよう実習生と私たち職員とが、お互いに学び合い、お互いに良き指導者になって行けたらと考えます。

後援会ありがとうございます

副島 珠希・田中美紀子
林 千沙子・今西千賀子

※敬称略



後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。

振振り込み先

口座番号

01970018114902

社会福祉法人 三気の会后援会

保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54-2

一口 3千円



第34回九州地区知的障害関係

施設職員研修大会

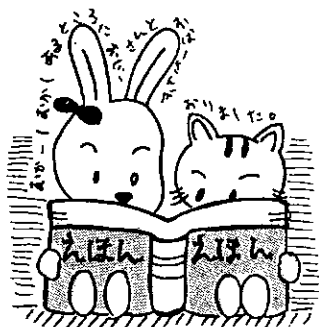
田邊 剛政

去る10月28日・29日の2日間、「変革のとき、施設職員に求められるもの」という主題の下、独自の文化をもつ琉球王国、沖縄にて大会が行われました。2日間とも天気がよくまだTシャツでも過ごせるほどの暑さでした。

大会には、指導員、栄養士、看護士それぞれ職域の違うもの3名で参加しました。八木指導員は、第5分科会(更生)に参加。グループリーダーも務め、自閉症の施設とすることで多くの意見や助言を求められました。そこで、対応に苦慮されていることを知り、自閉症という障害の重さを改めて痛感したとのことでした。前田栄養士は、第11分科会(給食)に参加。ちょうど選択メニューを実施しようと考えている時期でもあったため、重度者が多くて今までできなかったことを、色々と聞くことができました。私は、第10分科会(保健)に参加。高齢化による通院の増加、職員引率による処遇指導員の減少、

入院時の付き添いの問題などが今後の課題として上がっていました。これから高齢化や、生活習慣病が問題となってくるであろう三氣の里にとって、病気の予防と処遇職員の質の向上が求められるていくであろうと思われました。

この大会に参加して、手前みそですが、自分たちの援助がよい方向に進んでいることの再確認と、重度者の多い施設だからといって、できないままではいけないということを再認識できた有意義な研修でした。



全国自閉症者

施設協議会神奈川大会

石丸 直美

十一月十八日・十九日全国自閉症者施設協議会神奈川大会に園長、今村、榎本、石丸の四名が参加させて頂きました。福祉先進地区と

近藤原理先生講演会

石井 康就

言われる神奈川地区各4つの分科会では、地域の中でいかに生活していくかという事が大前提にあり、施設職員、親、市民が使命感にも似たものを持って実践している報告がされました。私の参加した第二分科会では「地域生活支援を考える」というテーマのもと本来施設を選んだのは親であり、当の本人は地域・家庭で生活する事を望んでいる。本人の希望に沿った生活をする為に本人が頑張る。ルールを守って地域で家族と暮らす。地域は家族で支援できない隙間を支援していく。その為に、施設を含め専門性を地域に広げていき、より地域生活支援体制を強化する事の重要性が、四人のパネラーによって投げかけられました。

今回の研修を通して、私自身との意識、取り組む姿勢の違い、を突き付けられ、改めて施設・私たちの役割を見つめ直す機会となりました。施設を利用する皆が現状に満足していないように、施設の中で生活させる事に満足を求めているのではないのです。

去る、11月20日(土)に、近藤原理先生を三氣の里にお招きして、テーマ「共同生活38年・今思うこと」「大変さを楽しむ」と題して講演をして頂きました。先生は、長崎のなすな園で障害者の方々と生活を共にされている一方で、長崎純心大学の教授でもあり、また三氣の里が開所当初からかかっている基本理念「のん気・こん気・げん気」も、先生の父親、近藤益雄先生の御言葉を頂いたものです。

講演の内容は、「大変さを楽しむ」ということで、障害者と接する側の考え方次第で、大変なことも楽しさに変えられるというもので、接する側は気持ちにゆとりをもち、ユーモア・夢をもって接することが大切であるということをお教えて頂きました。



今回の近藤先生の講演は、改めて現在の三氣の里、そして今の自分を見つめ直す良い機会となりました。講演の中で言われた先生の御言葉「おおらかに、こまやかに、さりげなく」を、毎日の生活の中で実践していこうと思います。

心理リハビリテーションの会

第25回大会（福岡大会）

に参加して

木下 昭二

1999年11月13日（土）～14日（日）の2日間、シーホークホテル&リゾートをメイン会場に行われた心理リハの全国大会に、山口指導員と共に参加しました。

福岡は動作法発祥の地ということもあって例年にも増して沢山の方々が参加しておられ、900名前後の皆さんが全国から福岡へ集まりました。特にこれまでは、海外の参加者といえば九州大学の留学生のみでしたが、今年はいくつ国内に限らずアジアの国々（お隣の韓国を始めタイ、マレーシア、イラン）や、遠くはイギリスからも参加があり世界レベルの大会にもなりました。また、基調講演では鹿児島大学の山中 寛先生の「21世紀における動作法の可能性」と題してお話してはJOCの野球チームのチームドクターとしてアジア予選に同行された時の話を中心に、（野球の技術面ではなくメンタル的な働きかけとしての動作法の話）をされ、難しい話は紙面

の都合上出来ませんが、体のバランスが崩れスランプに陥っているバッターや、球の走らない投手には「踏みしめ」が有効であったり、大舞台で緊張して普段の練習のときの実力が発揮出来ない選手には、適度な弛めの訓練の「軀幹のひねり」（じっくり弛め過ぎないこと）や、腕上げコントロールが有効で、試合前のベンチ裏では何人かの選手が訓練をやっている、先生の近い将来の夢はTVに映った選手全員が「踏みしめ」の訓練をやっているようになること、等ユーモアを交えての、しかしとても興味のある話で、多方面への動作法の広がりと共に国際化していく動作法をますます感じさせられた今回の全国大会でした。山口指導員のトレーナー資格取得申請も無事承認され、訓練をしていく上で強い味方が又一人が出来ました。熊本から参加された60名の皆さんお疲れ様でした。

第34回九州地区知的障害関係

施設職員研修大会（栄養の部）

前田 はる美

那覇市のロワジュールホテルにて、（10/27～10/29）九州地区知的障害関係施設の職員研修会に参加しました。約980人もの参加者があり、12の分科会に分かれての討議が行われました。私が参加した給食の分科会（128名の参加）

では「給食を通しての健康管理」について、「豊かな食生活の工夫」について、二人の先生による発表が行われ、その後、発表に対する質疑応答や各施設の情報を、それぞれの立場から意見を出し合いました。どの施設でも自閉症の入所者は5人から10人しかいないとのことで、食事を通しての利用者へのサービス（バイキングや選択メニュー）は参考になることばかりでした。三気の里で自閉症の入所者は60名以上います。しかし、我々（食事を作る側）は、利用者をも自分の事として考えるべきであり、利用者にとっての一番の楽しみである食事でのサービスを惜しんではいけなさと、改めて考えさせられる研修でした。近々、選択メニューを実施する予定です。

食堂営業中



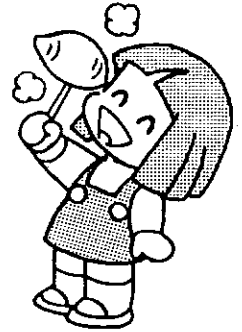
11月13日（土）の朝は厨房内の雰囲気少々違って見えた。いつも以上に気合が入っていて緊張感が伝わって来る感じがした。楽しい話題に声を弾ませ作業を進めていても、全員の目は幾度となく時計へと向けられていた。準備も整い全員で最終確認を行ない、多少の不安を抱きつつも私達の初挑戦が幕を開けた。何がそんな大げさにスタートしたのかと言うと「選択食」です。第一日目は、うどんの具を肉か狐か選べる様にしました。2種のうどんを見せて選択してもらいましたが、なかなか決まらず頭を悩ます姿も見られ、みんな少しは選ぶ楽しさを味わってもらえたかなと思います。予定通り肉が7対3の割合で人気を独占しました。期待と不安の中、初の試みは職員の方の協力もありスムーズに進行し大成功で幕を閉じることが出来ました。今後もしんなりに挑戦して下さいね、厨房さーん。矢野



第十一回からいもフェスティバル

植本 英也

十一月十四日(日)に大津町のHSR九州で、からいもフェスティバルが行われました。当日は晴天で作品展示会を上回るくらいの人でごった返していました。イベントも盛りだくさんで、から芋、地ビール販売、ホンダ車の展示会、ガレージセール、コンサートなど多数行われていました。(食べ物コーナーは特に充実していたようでした。)そんな中大変なハプニングが起きていてびっくりしました。前日にセッティングしたテントが見当たらないのです。どこに行ったか探してみると、なんと別のテントの上に三気の里のテントが乗っかっていたのです。周りの人達に手伝ってもらって何とかテントは立てられたのですが、やはりテントは当日に立てないといけませんね。どうにかこうにか販売開始までに間に合い、ほっとしました。販売の方は私と東内指導員が笑顔を振りまいたので上々?の売れ行きでした。とりあえず来年はテントが飛ばされないようにしましょうーっと。



保護者だより

保護者 甲斐 春好

3度炊く飯さえ固し軟らかし、思うがままにならぬ世の中。こんな言葉をまだ幼いころ聞きました。良く意味はわからない頃でした。今はわかります。

三気の里、田中稔施設長追悼文より。もし、僕に手紙が書けたなら「お父さんへ」の文中次の下りは反すうしています。「お父さん、今どこで何をしていますか?」「お父さん、土、日曜日と帰宅してもお父さんの姿は無い。最後のお別れの日、僕はスーツをパッチリ決めて式に参列した。お母さんは僕の姿を見るなり大粒の涙を流し「お父さんに見せたかったね。」未だかずかず悲しい言葉。はじめてのお正月寂しくお母さんと過ごした。俊二の母も目下入院中。あれほど俊二の為に尽くしてきたが、もう二

度と、そのような事が出来るように元気にはならないだろう。保護者の方も、私も、いずれこの日がきつと来るのです。後悔の無いよう、母にも俊二にも出来る限り、今一生懸命努めたい。思うがままにならないこの世の中で。アア私も大粒の涙が出てきた。



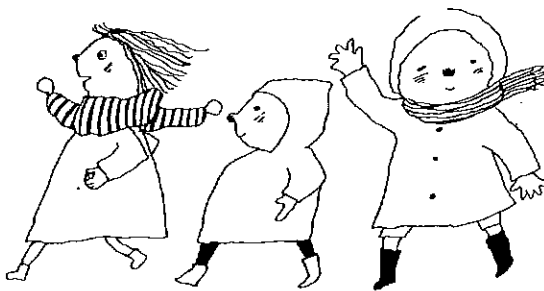
バシャバシャフェスタ

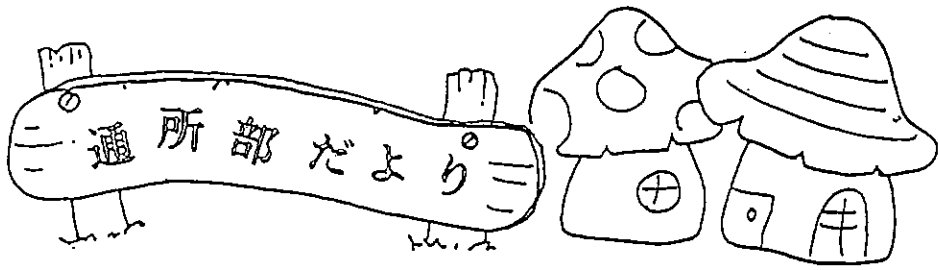
江藤ひとみ

去る十一月十四日、ボカボカ陽気の中旭志村でバシャバシャフェスタ(菊池地区地域福祉を考える集い)が行われました。三気の里からは、職員二名と園生八名が参加しました。旭志村の湯舟の溜池特設会場では、各施設(三気の里は出していませんが)展示を出したり、ステージではアトラクショ

ンが賑やかに行われました。太鼓の演奏や肥後学園のハンドベル演奏、その他歌の発表、一緒に参加した園生も写真を撮ったり、歌を口ずさんだりと楽しく過ごしていました。

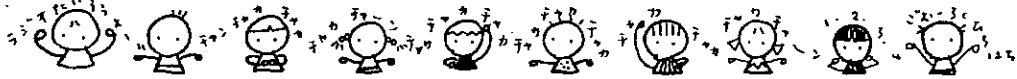
昼食は、おにぎり、豚汁、旭志村特産の絞りたて牛乳をサービスで御馳走になり、おなかも一杯、気持ちも楽しさで一杯の一日でした。しかもステージの司会は、藤本一精・テレビに出る有名人とあって、しっかり一緒に写真を撮ってもらいました。この写真、きつといい思い出になることでしょう♡





12月の通所部行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
2日観劇	7日体重測定	14日リクリエーション	1	2	3	4	
11日保護者会	24日クリスマス会			午観劇		休み	
5 休み	6	7 体重測定	8	9	10	11 保護者会	
12 休み	13	14 リクリエーション	15	16	17	18 休み	
19 休み	20	21	22	23 休み	24 クリスマス会	25 冬季帰宅訓練	
26	27	28	29	30	4日・5日・12日・18日・19日・23日 25日~1月9日 冬季帰宅訓練		休



通所部通信

十一月四日・五日、一泊二日の日程で大分県湯布院町へ宿泊レクリエーションへ行ってきました。日頃、頑張っている享ちゃんにお日さまも味方してくれたのでしよう、二日間ともポカポカ陽気でした。今回の旅行のメンバーは、享ちゃん・お母さん・砂野さん・今村の四人です。大好きな西山さんが一緒に行けないのが残念そうでしたが、当日の朝から散髪へ行っただ、かっこよくきめて旅行に出発した享ちゃんでした。

三気の里を出発して一時間も経たないうちから「来て良かった」を繰り返しています。途中、九重の紅葉を眺め、湯布院の空想の森美術館見学、金鱗湖周辺を散策し、今回の旅行の一番の目的「贅沢な宿に泊まる」の、山荘わらび野へ。緑豊かな静かな宿で、ゆっくりと時間が流れていきました。食事は、器の見た目にも美しく美味しく、一品ずつ運ばれてきて口に入れると「美味しい。しあわせ。」と何度も言っていました。

ます。すっかり全部食べてしまった私の前では、享ちゃんが「もうダメ、入りきらん。」と残して横になっていきます。露天風呂（部屋にもありました）にも何度も入り、日常の生活を忘れてしまう程でした。

翌日、湯布院の散歩コースを歩き、九州自動車歴史館見学、買い物をして、くじゅう花公園に行き旅行日程を終了。行く所全て「こころに入った」と喜んでいた享ちゃん。享ちゃんが楽しんでくれたのと同じ位私も楽しみました。「さて、来年はどこへ行こう」ともう来年のことを話しながら帰りました。

追伸 享ちゃんは湯布院で西山さんの夢をみたとのこと。来年は西山さんと一緒にいきたいね！

今村



12月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
2日観劇 16日誕生会 24日クリスマス会	5日福祉まつり	7日健康診断	1 4班レク	2日観劇 高木くん(33) 松枝くん(32)の誕生日 9 5班レク	3 10 島津くん(34)の誕生日	4 11日保護者会 餅つき大会 福田くん(28)の誕生日	
12	13 3班レク	14 7班レク	15 8班レク	16 2班レク 誕生会 守屋くん(23)の誕生日	17	18	
19	20 林くん(32)の誕生日	21 6班レク	22 1班レク	23 赤影くん(29)の誕生日	24 クリスマス会	25 冬季帰宅訓練	
26 藤原さん(25)の誕生日	27	28	29 元田くん(33)の誕生日	30	31 高木くん・松枝くん・島津くん 福田くん・守屋くん・林くん・元田くん 赤影くん・藤原さんおめでとう!		



ボランテア通信

冬が駆け足でやってくる気配が感じられる今日この頃ですが、風邪等ひかれていないでしょうか？
玄関に生けてある花を見ては「きれいだなあ」と眺める事があります。この花はボランテアの方が定期的に生けて下さっている花。そして、花が枯れる頃綺麗な花を生けに園に足をはこんで下さっています。心に余裕がないと、花が生けている事に気づきもしないし、綺麗だなあと感じる事もあります。余裕を持つことは大切なことですよ。ボランテアの皆様には感謝の気持ちで一杯です。(園芸班の皆様が植えて下さっている花にも、感謝しています)

阿南 和弘
この度、非常勤としてお世話になる事になりました。年齢は28歳です。見た目はもっと年上に見えらちな私ですが、気持ちは年々若くなっているつもりです。只今、6班の一員として散歩・学習訓練と毎日楽しく過ごさせてもらっています。私自身、体を動かすことが大好きなのでこれからも心と体で園生の皆さんと向き合いながら自分自身を向上させたいと思っていますので、今後とも宜しくお願い致します。

石田恭子
初めまして、9月より三気の里で非常勤として勤務しております、石田恭子です。
毎日が戸惑いの連続ですが、とても充実した生活を送ることができています。
一日一日を大切に過ごして行きたいと思えます。
一生懸命努力しますので、御指導の程を宜しくお願致します。

新人職員紹介

☆生け花 西村 栄子
☆散髪 源造 淳
※敬称略

